



施策の方向と取り組む事業

- ・「広報つやま」や生涯学習情報紙「まなびい」、ホームページに、図書館行事や読書活動関連行事を掲載し、広報に努めます。
- ・市立図書館が身近な存在になるように、図書館の豊富な資料や図書館行事の広報に努めます。
- ・「子ども読書の日」や「子どもの読書週間」、「読書週間」を中心に、その趣旨にふさわしい行事を実施します。
- ・学校、図書館、子どもの読書活動推進に取り組む民間団体と連携を図りながら、広報啓発を推進します。特に第2次計画実施初年度には「つやまっ子読書活動推進事業」として啓発事業を集中的に行います。

(2) 各種情報の収集・提供

現在、市内には子どもの文化活動や読書活動に関する活動を実施している個人や団体、グループがあります。今後、学校、図書館、地域などにおける様々な取り組みに関して、情報を収集し活用していくことが課題です。

施策の方向と取り組む事業

- ・学校、図書館、地域で活躍する個人や団体の把握に努め、地域人材バンクを作成します。
- ・読書活動関連情報等の提供と交換に努めます。
- ・岡山県が運用している子どもの読書専用ホームページへのリンク情報を提供します。

第2次津山市子ども読書活動推進計画で実行する3つの取り組み

第2次計画で取り組む方策のうち、特徴的な3つの事業と数値目標を掲げます。

「1日15分間読書」

家庭・学校等で読書習慣が身につくよう取り組む

【5年後の数値目標】

1週間の読書時間(小5)
1時間未満 39% 10%未満

「つやまっ子に贈る100冊の本」

地域全体で子どもの読書活動を支援するため、市民に広く呼びかけて、自分が子どもの頃に大好きだった本、夢中になった本、そして今の子どもたちにぜひ読んで欲しい本を紹介してもらい、いろいろな人からの推薦文を入れたリストにする。今の子どもたちが良書と出会うきっかけとする。

【ビジョン達成のために】

本との出会い・きっかけづくりを推進

「津山みんなの課題図書」

地域全体で読書の楽しさを共有するため、津山市版の課題図書に大人も子どもも挑戦する。その本をテーマに課題図書クイズ大会、読書感想画展、暗唱・朗読大会などのイベントを開催し、誰でも参加できる読書のきっかけづくりにし、また、本の魅力・感動を世代を超えて共有できる機会とする。

【5年後の数値目標】

読んだ本の話を家族とする(小5)
63% 75%